



進路だより



H30年度 6月号

～ 先輩からのメッセージ ～

5月の最終週から、皆さんの先輩でもある教育実習生が来校されています。実習生によって、期間が2週間であったり3週間であったりと違いはありますが、実習生のお話を聞いて「大学生になるとこんな経験もできるんだ！」ということを実感したのではないのでしょうか。そんな先輩方から、御自身の所属の紹介や皆さんにアドバイスをいただいています。数年前は南高生だった人たちからのメッセージですので、ぜひ勉強法や進路選択の参考にしてください。

①大学の所属 ②研究内容 ③大学を選んだ理由 ④オススメの勉強法 ⑤5年後の自分

【 相原 友紀 先輩（国語） 】

- ①岡山大学 文学部 哲学芸術学コース 哲学倫理学研究室
- ②哲学者が書いた本を読む。ドイツ語（ドイツの哲学者）の本を読む。
- ③文学部があり、愛媛から近い県外であったから。
- ④週末課題を週末が来るまでに終わらせる。放課後、教室に残って友達同士で教え合う。受験勉強はみんなでやれば乗り越えられる。現代文は論理的に答えを考える。古文は単語帳を制覇する。
- ⑤仕事を充実させ、趣味なども充実させる。先生になっていたら、生徒の気持ちを考えられる先生になりたい。

【 渡部 大樹 先輩（国語） 】

- ①北九州市立大学 文学部 比較文化 東南アジア・教職ゼミ室
- ②東南アジアの文化、ベトナムの食文化、日本文学（現代文・古典文学・漢文学）
英語・中国語
- ③立地条件が良いから。日本やグローバルに興味があったから。授業を選択できる自由度が高いから。学べる幅が広いから、自分のやりたいことを見つけられる場所だと思ったから。
- ④現代文：文章になれること。文中で何が大事で、いらぬ部分はどれかを選別。
大事な部分や筆者の主張などに線を引く。
英語：単語の持つイメージで覚える。長文をたくさん解く。友人と英単語帳の問題を出し合う。センター試験前は長文読解や赤本をひたすら解く。
日本史：一問一答をひたすらやる。
- ⑤教員免許を取って、企業で働いている。特に、人材派遣会社や広告系（ネット広告など）の職で働きたい。

【 登口 碧 先輩 (化学) 】

- ①愛媛大学 理学部 化学科 複合体研究室
- ②多核錯体の合成。合成を研究し、その性質を調べている。
- ③自分がしたい研究学科が地元にあったから。地元だから。
- ④数学は解き続ける。化学は電子の気持ちになる。英語は毎日テレビやラジオで関わり、リスニング能力の向上。綴りを筆記体で覚える。
- ⑤化学に関わる仕事に就職している。教員か研究。

先輩たちも多くの情報やアドバイスを収集し、いろいろと悩みながら高校生活を送り、それを乗り越えて現在の充実した大学生活を過ごしているのだと思います。今回掲載しきれなかった他の先輩方のアドバイスは、来月号にも続けて掲載しますので、お楽しみに。

お知らせ 第1回南高教養アップ講座開催！！

皆さんの目指している『大学』とは、知的好奇心を満たしていく場所です。質の高い研究をしていくためには、広い教養が不可欠です。高校生の間に、さまざまな知的好奇心を持ち、教養を深めておくことは、とても大切なことだと思います。今年度の第1回南高教養アップ講座は、7月27日(金)の講座Ⅰ13:00~14:00、講座Ⅱ14:30~15:30で、東京国際大学から先生をお迎えして、All Englishで講義していただきます。昨年度も実施しましたが、大変好評で今年度も行うことになりました。この機会に、**あなたの知的好奇心を刺激しませんか。**参加希望生徒は6月27日(水)までに、HR担任の先生に申し出てください。

大学説明会報告 「九州工業大学」

6月5日(火)に、本校会議室にて昨年に引き続き本校OBでもある青木俊介教授をお迎えし、説明会を実施しました。九州工業大学の特徴である就職力、技術力の高さははじめとして、工学部と情報工学部の各コースの特徴、さらに先生の研究内容やスキルの必要性についても分かりやすく教えていただきました。入試に関する最新情報もあり、貴重な情報をいただきました。説明会終了後も、個別質問の行列ができ、長時間対応していただきました。受講した生徒の感想を紹介します。



○1年生のころから興味を持っていた大学で、今回の説明会で絶対に行きたい大学に変わりました。宇宙系の学科を扱っている大学は全国で見てもあまり多くはありませんが、就職に強い大学で、このような学科があるのは、すごいなと思いました。僕はロケットや人工衛星や自動車など、様々な機械に興味があるので、大学に入ってから自分の好きな道に進めるというのはいいなと思いました。(3年)

○初めての大学説明会で、大学ではどんなことが学べるのかや大学入試の考え方など、細かいところまでよく分かりました。九工大を卒業した人で、日本・世界に貢献している方がいることを知り、自分も頑張ってみようと思いました。また、九工大は、工学部と情報工学部に分かれており、類別入試を導入していて、様々な進路選択ができることが分かりました。自分が将来やりたいことについて、深く調べようと思いました。(1年)